

科目区分	研究科目		
授業科目名	医学教育学		
担当者名	長谷川 仁志	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
<b>授業の概要・到達目標</b> 授業の概要: 医学・医療教育は、将来の医療を見据えて、一歩二歩先に改革を進めていく必要がある。本講座では、日本の実情を考慮しながら、各分野における教育の充実や新たな展開を推進する医学・医療教育に関する研究を進める。国内外の学会発表などで情報発信することによりその内容を充実させながら論文として公表し、学位審査を経て学位を取得することを目標とする。 授業の目的: 1. これからの各分野における理想的な医学・医療教育について説明できる。 2. 最近の医学・医療教育研究の各種手法を理解して目的に合わせて実践できる。 3. 次世代の医療のために、将来を見越した医学・医療教育を展開するための教育研究を実践できる。			
<b>問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)</b> 長谷川 仁志, hasegawa@doc.med.akita-u.ac.jp			
<b>その他特記事項</b> 履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			

科目区分	研究科目		
授業科目名	消化器内科学・神経内科学		
担当者名	飯島 克則	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	カンファレンスルーム
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
<b>授業の概要・到達目標</b> 授業の目的: 研究を進めるうえで必要となる、実験や学会等での発表、論文作成にかかる技術的知識や技能について学ぶことを目的とする。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後、学位審査を経て、学位取得を目標とする。 授業の概要: 消化性潰瘍、早期がん内視鏡治療後の経過観察、消化管出血内視鏡的止血術後の経過観察などの臨床データを元に、臨床的課題を抽出して、研究テーマを設定して臨床研究を行う。次に、データのまとめ方、学会発表の仕方、論文作成のまとめ方を習得する。この過程で統計的手法を身につけて、自身で臨床的疑問を解決できるようになる。 1. 腸内細菌叢の解析方法を学び、種々の疾患の関わりについて解析する。 2. 炎症性腸疾患に関しての臨床データをまとめて、統計解析方法を学ぶ。 3. 炎症性腸疾患の病態に関しての基礎研究を培養細胞、動物モデルを用いて行う。この過程で、種々の実験方法について学ぶ。 4. 肝がん、膵がんに関しての臨床データをまとめて、統計解析法について学ぶ。			
<b>問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)</b> 飯島 克則, kijima@med.akita-u.ac.jp			
<b>その他特記事項</b> 履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			